

Ⅳ 市民会館・公民館の状況

1. 市民会館・公民館施設概要

会館は多様な文化的活動に対応しつつ、教育機関としての機能も果たしていく施設として、昭和52年6月に開館した。

福生市民会館・公民館	福生市福生2455	電話 52-1711
敷地面積	4,937.07㎡	
建築延面積	6,771.25㎡	
鉄筋コンクリート	地下1階 地上3階建	
職員	12人	

また、武蔵野台地区に昭和54年5月、熊川地区に昭和55年5月、社会教育活動の拠点として、地域の文化活動、また学習活動の場としての公民館分館が開館した。

- | | | |
|----------|---------------|------------|
| (1) 松林分館 | 福生市武蔵野台1-15-1 | 電話 52-3624 |
| 敷地面積 | 1,104.98㎡ | |
| 建築延面積 | 564.30㎡ | |
| 鉄筋コンクリート | 地上2階建 | |
| 職員 | 2人 | |
-
- | | | |
|----------|------------|------------|
| (2) 白梅分館 | 福生市熊川559-1 | 電話 53-3454 |
| 敷地面積 | 2,158.03㎡ | |
| 建築延面積 | 570.59㎡ | |
| 鉄筋コンクリート | 地上2階建 | |
| 職員 | 2人 | |

2. 市民会館・公民館の利用状況

月 別 区 分 施 設 名			4			5			6			7			8			9			10			11			12			2年 1			2			3			合 計		
			有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数
市 民 会 館	ホ ー ル	大 ホ ー ル	34 ^回	^回	34 ^回	26 ^回	^回	26 ^回	25 ^回	^回	25 ^回	15 ^回	^回	15 ^回	14 ^回	^回	14 ^回	35 ^回	^回	35 ^回	14 ^回	^回	14 ^回	55 ^回	^回	55 ^回	21 ^回	^回	21 ^回	30 ^回	^回	30 ^回	14 ^回	^回	14 ^回	31 ^回	^回	31 ^回	314 ^回	^回	314 ^回
		小 ホ ー ル	25		25	25		25	24		24	46		46	24		24	21		21	21		21	28		28	16		16	11		11	10		10	34		34	285		285
		小 計	59		59	51		51	49		49	61		61	38		38	56		56	35		35	83		83	37		37	41		41	24		24	65		65	599		599
	集 会 室 等	リハーサル室	2	8	10	14	9	23	3	16	19	7	8	15	3	11	14	3	28	31	5	17	22	9	40	49	10	16	26	2	20	22	2	13	15	3	26	29	63	212	275
		第1集会室	4	28	32	9	29	38	8	33	41	7	35	42	8	21	29	7	38	45	11	27	38	8	39	47	5	24	29	11	26	37	10	32	42	9	32	41	97	364	461
		第2集会室	4	38	42	10	37	47	5	53	58	5	44	49	9	26	35	6	50	56	3	48	51	4	52	56	4	33	37	9	33	42	11	48	59	10	43	53	80	505	585
		第3集会室	3	36	39	4	33	37	7	41	48	2	44	46	4	29	33	6	44	50	8	43	51	8	45	53	4	36	40	2	39	41	9	43	52	2	47	49	59	480	539
		第4集会室	10	28	38	11	29	40	10	31	41	8	36	44	10	29	39	2	44	46	7	32	39	7	46	53	6	33	39	7	23	30	11	32	43	13	33	46	102	396	498
		第5集会室	5	24	29	7	26	33	6	33	39	6	37	43	8	32	40	1	43	44	6	39	45	3	51	54	3	32	35	6	21	27	11	27	38	6	40	46	68	405	473
		第6集会室	5	35	40	8	30	38	10	29	39	7	33	40	8	27	35	6	42	48	11	35	46	6	51	57	5	41	46	7	31	38	3	43	46	9	42	51	85	439	524
		第7集会室	5	35	40	8	30	38	10	28	38	6	31	37	4	23	27	6	41	47	9	35	44	6	49	55	3	40	43	6	31	37	4	44	48	5	40	45	72	427	499
		第8集会室	11	15	26	6	10	16	11	21	32	13	10	23	5	6	11	4	14	18	6	12	18	7	24	31	3	6	9	9	5	14	10	7	17	15	13	28	100	143	243
		展 示 室	0	0	0	0	0	0	0	14	14	0	2	2	3	18	21	0	27	27	2	0	2	0	34	34	0	6	6	0	30	30	7	0	7	0	6	6	12	137	149
		小 計	49	247	296	77	233	310	70	299	369	61	280	341	62	222	284	41	371	412	68	288	356	58	431	489	43	267	310	59	259	318	78	289	367	72	322	394	738	3,508	4,246
	計		108	247	355	128	233	361	119	299	418	122	280	402	100	222	322	97	371	468	103	288	391	141	431	572	80	267	347	100	259	359	102	289	391	137	322	459	1,337	3,508	4,845
公 民 館	調 理 室	4	24	28	5	27	32	7	31	38	7	28	35	5	20	25	7	37	44	9	30	39	13	39	52	3	40	43	7	19	26	6	31	37	6	35	41	79	361	440	
	美 術 室	0	20	20	0	27	27	0	24	24	0	26	26	0	23	23	0	26	26	0	35	35	0	38	38	0	34	34	0	16	16	0	24	24	0	36	36	0	329	329	
	音 楽 室	2	31	33	0	27	27	0	33	33	0	24	24	1	22	23	1	32	33	3	22	25	0	38	38	0	28	28	3	25	28	7	27	34	0	31	31	17	340	357	
	視 聴 覚 室	0	15	15	0	18	18	0	34	34	0	28	28	3	15	18	4	25	29	5	32	37	0	34	34	0	42	42	0	21	21	7	29	36	0	35	35	19	328	347	
	児 童 室	0	18	18	0	22	22	0	36	36	1	36	37	0	16	16	0	32	32	0	28	28	0	42	42	3	25	28	0	24	24	0	27	27	0	25	25	4	331	335	
	計	6	108	114	5	121	126	7	158	165	8	142	150	9	96	105	12	152	164	17	147	164	13	191	204	6	169	175	10	105	115	20	138	158	6	162	168	119	1,689	1,808	
合 計		114	355	469	133	354	487	126	457	583	130	422	552	109	318	427	109	523	632	120	435	555	154	622	776	86	436	522	110	364	474	122	427	549	143	484	627	1,456	5,197	6,653	

松 林 会 館 利 用 状 況

月 区分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
主 催 事 業	件 数	10	21	42	42	40	44	65	42	27	19	28	36	416
	人 数	80	245	602	626	663	712	3,853	544	320	215	346	396	8,602
住 民 の 社会教育活動	件 数	134	123	148	130	93	120	109	118	106	94	125	128	1,428
	人 数	1,490	1,434	1,754	1,554	1,269	1,412	1,250	1,319	1,356	1,071	1,334	1,712	16,955
公 共 的 団 体	件 数	3	8	2	9	12	4	8	5	11	9	1	13	85
	人 数	148	237	50	110	121	115	540	113	423	253	10	334	2,454
政 治 宗 教 団 体	件 数	8	9	5	4	7	6	2	0	1	4	2	6	53
	人 数	364	347	238	220	269	278	100	0	30	201	35	154	2,236
企 業	件 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
	人 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	273	273
そ の 他	件 数	10	4	10	6	5	4	6	7	6	6	8	6	78
	人 数	252	105	208	135	132	107	190	128	230	91	210	175	1,963
計	件 数	165	165	207	191	157	178	190	172	151	132	164	192	2,064
	人 数	2,334	2,368	2,852	2,645	2,454	2,624	5,933	2,104	2,359	1,831	1,935	2,998	32,437

白 梅 会 館 利 用 状 況

区分 \ 月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
主 催 事 業	件 数	5	5	12	21	17	12	9	31	23	16	16	21	188
	人 数	76	750	190	423	400	161	106	420	384	272	305	412	3,899
住 民 の 社会教育活動	件 数	179	129	169	176	115	163	186	148	131	91	140	156	1,783
	人 数	2,500	1,584	2,576	2,136	1,455	2,123	2,354	1,911	2,047	1,437	2,088	2,634	24,845
公 共 的 団 体	件 数	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	4
	人 数	0	35	0	0	0	15	40	0	0	0	0	40	130
政 治 ・ 宗 教 的 団 体	件 数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	1	0	4
	人 数	0	0	0	0	10	0	0	0	0	105	10	0	125
企 業	件 数	2	0	1	1	0	2	0	1	1	0	0	0	8
	人 数	23	0	10	30	0	25	0	20	35	0	0	0	143
そ の 他	件 数	2	1	0	0	0	0	9	10	6	11	9	16	64
	人 数	60	16	0	0	0	0	128	135	82	117	132	186	856
合 計	件 数	188	136	182	198	133	178	205	190	161	120	166	194	2,051
	人 数	2,659	2,385	2,776	2,589	1,865	2,324	2,628	2,486	2,548	1,931	2,535	3,272	29,998

3. 公民館運営審議会

公民館運営審議会は、館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議する機関である。この制度は社会教育法上必置制となっており、当市の場合任期2年、定数10名で構成される。

本年度の審議内容は次のとおりである。

第1回 平成元年4月28日（金） 公民館本館

- 平成元年度上半期主催事業について
- 自主団体への会場借上げ料援助事業に関する取扱い要領（案）について
- その他

第2回 平成元年5月29日（月） 公民館本館

- 公運審会議の傍聴について
- 自主団体への会場借上げ料援助事業に関する取扱い要領（案）について
- 会館紀要について
（内容 公民館活動のこれからの展開にむけて）

第3回 平成元年6月22日（木） 公民館本館

- 自主団体への会場借上げ料援助事業に関する取扱い要領（案）について
- 会館紀要について
（内容 公民館活動のこれからの展開にむけて）
- その他

第4回 平成元年7月20日（木） 公民館本館

- 自主団体への会場借上げ料援助事業に関する取扱い要領（案）について
- 会館紀要について
（内容 公民館活動のこれからの展開にむけて）
- その他

第5回 平成元年8月31日（木） 公民館本館

- 都公連委員部会Bブロック研修会について
- 会館紀要について
- その他

第6回 平成元年9月25日（月） 公民館本館

- 視察研修について

○会館紀要について

(内容 社会教育関係団体・政治・営利団体への公民館の貸し出しについて)

○その他

第7回 平成元年10月30日(月) 公民館本館

○平成元年度下半期主催事業について

○会館紀要について

(内容 サークルがイベントする時)

○その他

第8回 平成元年11月20日(月) 公民館本館

○正副委員長の互選について

○平成元年度下半期主催事業について

○会館紀要について

(内容 サークルがイベントする時)

○その他

第9回 平成元年12月7日(木) 公民館本館

○保谷市公民館視察内容について

○その他

第10回 平成元年12月22日(金) 公民館本館

○平成2年度公民館予算について

○その他

第11回 平成2年1月26日(金) 公民館本館

○保谷市公民館の視察について

○その他

保谷市公民館研修視察

平成2年1月28日(日)

住吉公民館、ひばりが丘公民館、柳沢公民館

第12回 平成2年2月19日(月) 公民館本館

○社会教育関係団体について

○その他

第13回 平成2年3月19日(月) 公民館本館

○公民館運営審議会引継ぎ事項の整理について

○その他

4. 奨励、援助

(1) 人的援助

各団体、個人の相談に応じ、職員が必要な助言、指導、援助を行った。

分館を除き、公民館では、夜間における社会教育の活動が昼間より非常に多いことから、これら社会教育活動をする市民（団体）の相談にのり、必要な援助をするため、職員が1名残る体制をとっている。（午後5時から10時まで）

(2) 教材、教具等の利用

(3) 事務援助

印刷事務等

(4) 会場借上

大ホール1回（福生市音楽愛好者連絡会）

小ホール2回（市民劇団バックス、福生市民コーラス）

社会教育備品貸出し状況

内訳 \ 月	1年 4月	5	6	7	8	9	10	11	12	2年 1月	2	3	計
利用団体	2	2	5	10	9	6	7	5	4	4	3	3	60
16ミリ映写機			2	3	2		1	1			2		11
8ミリ映写機					2								2
8ミリカメラ					1								1
スライド映写機				1									1
O H P				2			1						3
スクリーン		1	3	1	2	1				1	2	1	12
暗幕			1		1				1	2		2	7
ビデオセット	2	1	1	5	2	5	5	4	1	2			28
スポットライト									3	1		2	6

立川社会教育会館フィルム配送サービス取扱い

内訳 \ 月	1年 4月	5	6	7	8	9	10	11	12	2年 1月	2	3	計
利用団体	2	2	5	5	5	3	4	1		3	5	4	39
本数	3	3	14	9	12	7	8	1		6	9	9	81

5. 公民館主催事業

(1) 幼 児

保育室事業

幼児の成長、発達をはかり、子どもをあずけることを通して、母親が学習していく場として実施した。

期間（前期） 平成元年6月1日（木）～10月18日（水） 午前10時～正午

15回×4コース

（後期） 平成元年11月9日（木）～平成2年3月26日（月）午前10時～正午

15回×3コース

会場 公民館本館、松林分館、白梅分館

参加者（前期）（15人×2C+14人+13人）×15回＝855人

（後期）（15人×2C+12人）×15回＝630人

計1,485人

内容 幼児が集団の中で能動的にかかわれるようにする。幼児の自立をうながす。

実 施 コ ー ス		幼 児 数					延参加者数
		1 才	2 才	3 才	4 才	計	
前 期	公 民 館月曜コース	7	7	1	0	15	855人
	〃 金曜コース	9	4	0	0	13	
	松林分館水曜コース	7	4	2	1	14	
	白梅分館木曜コース	13	1	1	0	15	
後 期	公 民 館水曜コース	9	6	0	0	15	630人
	松林分館木曜コース	6	1	5	0	12	
	白梅分館月曜コース	11	2	2	0	15	

(2) 少 年

子どもアウトドア教室

野外生活に必要な知識・技術を学びながら、子ども同士の仲間づくりを図る。

期 間 平成元年7月13日（木）～8月31日（木） 午後2時～4時 全9回

会 場 公民館本館及び野外

参加者 33人×9回=297人

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
7. 13	なかまを知ろう。／	オリエンテーション、自己紹介	担 当 職 員 小倉 佳奈氏 沢村 雅人氏 小泉 喜由氏 石川 太郎氏 斉藤 貢司氏 田辺 伸一氏 白石 貴子氏
7. 20	キャンプって何だろう？	キャンプとは、班分け、班会議	
7. 27	デイキャンプ	柳山公園でカレーライスづくり	
8. 3	酒蔵探検	石川酒蔵見学	
8. 10	キャンプ班会議だ。／	役割分担等を決定	
8. 17	〃	スタンプ等を決定	
8. 21	キャンプ最終チェック	もちもの、役割分担を班で確認	
8. 23	アウトドアキャンプ	奥多摩アメリカキャンプ村にて2泊3日 のキャンプを実施	
8. 24			
8. 25			
8. 31	キャンプ反省会	キャンプの反省	

総 括 少年対象の事業での大きな課題は、リーダーをどう育てていくかであろう。アウトドア教室も中学生になると参加者が減ってしまう。中学生をどう教室とかかわらせていくのか考えていく必要があるだろう。

夏休み工作教室 「新聞紙でつくるはりこ」

身近にある新聞紙という素材を使って、創造性豊かなはりこ作りに挑戦した。

期 間 平成元年8月24日・25日 午後2時～4時30分

会 場 公民館本館

参加者 26人×2回=52人

講 師 木住野 利明氏（造形作家）

月 日	内 容
8. 24	新聞紙をまるめて動物の形にする。和紙をはりつける。
25	絵付け

総括 松林分館で実施していたものを今年度から本館で実施した。そのためか参加してくる子どもの層に広がりがみられた。

子ども達は生き生きとして工作に取り組んで、出来上がりも、かなりユニークなものが多かった。夏休みの宿題対策という側面も持ち合わせているが、今後とも子ども達に手づくりの良さ、創造することの楽しさを味わってもらいたい。

冬の工作教室 「折ってくる紙の動物」

ナイフやハサミがうまく使えない……など子どもの手先の器用さが失われている…といわれる今日、遊びの中で豊かな創造性を発揮し、手先をたくみに使う切り紙・折り紙の要素を合わせた紙工作を実施した。

期 間 平成元年12月20日・21日(木)

会 場 公民館本館

参加者 10人×2回=20人

講 師 池水 宗太郎氏(福生第一小学校)

内 容 講師のテキストをもとに紙工作の基本から応用まで。

総括 松林分館で実施していたものを今年度から本館で実施した。参加者は松林の時と全く違っていたが、おもったほど参加者が集まらなかった。なぜだろう? 時期的なものもあるだろうし、作るものにもよるだろうが、夏休み工作の方は宿題対策という側面があるが、冬休みはそれが無い。まだ、子供達に本当の意味で工作の面白さが伝わっていないのだろうか?

子ども教室 '89

遊びを通して、子ども達の豊かな発達を保障するという目的で開催し、(1)遊びを通して異年齢のこどもの集団の中で遊びを経験し、(2)こどもの中の民主性を回復し、(3)子どもの手、足の巧みさを回復し、(4)自然の触れ合いを大事にしながら、自然に対する感性を豊かにし、地域を科学的に見る眼を養い、(5)仲間に働きかけ、何かを一緒にやりとげる力を育て、子どもに自治的能力を身につけていく、ことを目標にした。

期 間 平成元年5月27日(土)～9月30日(土) 午後1時30分～4時 全21回

会 場 松林分館、多摩川原、草花

参加者 35人×21回 延735人

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
5. 27	オリエンテーション	ゲーム、自己紹介、これからのこと	担 当 職 員
6. 3	おもいきり遊ぼう	室内ゲームで楽しもう	
11	おもいきり遊ぼう	室内ゲームで楽しもう	
17	おもいきり遊ぼう	野外ゲームで楽しもう	
25	作ってあそぶ	わりばし鉄砲	
7. 1	作ってあそぶ	竹笛を作る	
9	公園であそぼう	かに坂公園であそぶ	
15	川原に出かけよう	多摩川原で川渡り	
23	川原に出かけよう	多摩川原で川渡り	
30	川原に出かけよう	草花丘陵をたんけんしよう	
8. 5	野外活動の基礎	キャンプ計画を作る	
11	訓練キャンプ	松林ワークキャンプ	
12	訓練キャンプ	松林ワークキャンプ	
16	キャンプ準備	キャンプ準備、買出し	
17～19	本キャンプ	五日市青少年キャンプ村	
9. 2	草花たんけん	草花丘陵を歩く	佐藤 克年
9	自転車であそぶ	自転車を解体しよう	
23	自転車であそぶ	自転車を解体しよう	
30	自転車であそぶ	自転車を解体しよう	

子ども教室Ⅱ パッチワーク教室

生活技術としてパッチワークをとりあげた。

期 間 平成元年8月2日～5日 午後1時30分～4時30分 全4回

会 場 松林分館

参加者 14人×4回＝46人

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
8. 2	パッチワーク	型紙を作る、作品を決める	深瀬 恵子 (パッチワーク 研究者)
3	パッチワーク	パジャマ入れ、サイフ、人形を作る	
4	パッチワーク	〃	
5	パッチワーク	作品完成	

劇団ファンタスティック

子どもの継続的な文化活動として、子ども教室から出発した。本年度4年目に入った演劇活動で、小学校1年生から中学3年生まで参加している。本年は、8月に市民会館小ホールで、福生第2中学校演劇部と合同公演、平成2年3月に田園会館で公演をした。

期 間 平成元年4月15日から平成2年3月18日 毎土曜日午後2時～5時 全58回

会 場 松林分館

参加者 14人×58回＝812人

8月27日 午後1時30分から午後4時 福生第2中学校演劇部とファンタスティック合同公演、

福生第2中学校演劇部、さつば夜話 演出 名々井美保(中3)

ファンタスティック 花咲き山考 演出 平野聖子(中1) 加藤有孝

3月11日 久保田万太郎作 「おもちゃ裁判」 演出 平野聖子(中1) 加藤有孝

サバイバル教室

野外で生活することにより、自然に親しみ、子ども同士が協力して生活することにより、豊かな人間関係をつくることを目標に実施した。

期 間 平成元年7月22日(土)～8月23日(水) 全8回

会 場 松林分館 他

参加者 15人 延べ105人

講 師 佐久間直冬氏、榎本隆氏、佐藤克年氏、村井基樹氏、星野恵子氏

月 日	内 容
7. 22	オリエンテーション、自己紹介、室内ゲーム、他
26	みんなで料理をつくってみよう
8. 2	室内ゲーム
9	川にテントをはって、遊ぼう
11	キャンプの準備会
15	キャンプ 買い出し、山歩き、キャンプファイヤー、
16	川遊び
23	反省会

総括 今年は、子どもの人数のわりに、大勢のリーダーの参加が得られたので、「川でテントをはって遊ぼう」や、「キャンプ」では、かなりの冒険ができた。

「みんなで料理をつくってみよう」や「キャンプ」では、薪による火を使って料理したが、子ども達は、薪割りは一様にうまくなったが、一部の子どもを除いて、火にくべるのを怖がったり、火の扱いが苦手の子がいた。

子ども将棋教室

子供に、昔から日本人が楽しんできた将棋の面白さを経験させたいと共に、強い子供には、さらに強くなるためのテクニックを覚えさせるために行った。

期 間 平成2年2月25日(日)～4月2日(月) 午前9時30分～11時30分

全10回

会 場 松林分館

参加者 11人×10回＝110人

講 師 栗原 玄氏(日本将棋連盟福生支部)

月 日	内 容
2. 25	駒の動き方、駒の呼び方、盤面の符号を暗記しましょう
3. 11	将棋のルール、詰み、詰め方
25	必至 (確実に勝つ手)
26	戦型 (やぐら囲い、みの囲い)
28	効果的な動かし方
29	戦い方の急所 (2枚落ち戦)
30	戦い方の急所 (平手戦)
31	実戦、詰め将棋
4. 1	実戦、詰め将棋、必至
2	総括、質問

総括 予定していたほど参加者が集まらなかったもので、初心者と経験者をいっしょに学習してもらうことになった。最初は経験者が面白くなく、後の方では、初心者が退屈したようだ。今後は募集のしかたを考えたい。

夏休み自然教室

多摩川中央公園予定地は、河川敷特有の地形で植物・昆虫などにとって豊かな自然環境が残っていた。この公園が開園してしまえば、地形や生物環境が大きく変わることが予想されるため、子ども達や関心のある市民の人達と自然の様子の記録する機会とした。

期 間 平成元年 7 月 3 1 日 (月) ～ 8 月 2 8 日 (月) 全 1 4 回

会 場 白梅分館、多摩川中央公園予定地

参加者 1 2 人 延べ参加者数 1 0 2 人

日 時	テ ー マ	内 容	講 師
7. 31	オリエンテーション	自己紹介と教室の説明	担 当 職 員
8. 3	昆 虫 の 観 察 Ⅰ	草地の昆虫を観察記録する	栗原 仁氏
4	植 物 の 観 察 Ⅰ	河原の樹木を観察記録する	宮岡一雄氏
7	植 物 の 観 察 Ⅱ	林の下草を中心に観察記録する	同 上
9	植 物 の 観 察 Ⅲ	水辺の植物を中心に観察記録をする	同 上
10 11	滝山丘陵キャンプ	秋川市のグリーンキャンプ場でキャンプをする。24時間の自然の変化を体験し、秋川の様子なども観察記録する	担 当 職 員 実技指導者
17	昆 虫 の 観 察 Ⅱ	堤防付近の草地の昆虫を観察記録する	栗原 仁氏
18	植 物 の 観 察 Ⅳ	水辺から高台の間の植物の観察記録する	宮岡一雄氏
21	植 物 の 観 察 Ⅴ	全般的に不足していた部分の観察を行う	宮岡一雄氏
24	野 鳥 の 観 察	早朝に野鳥を観察記録する	担 当 職 員
25	昆 虫 の 観 察 Ⅲ	不足していた部分の昆虫を観察記録する	栗原 仁氏
28	ま と め	地図の中に植物・昆虫・野鳥を記録する	担 当 職 員

総 括 河川特有の地形によって、思った以上に植物や昆虫が生息し、面白さの残った河川敷であることがわかった。この記録が発行される頃には多摩川中央公園は開園し、この記録だけが残ることになると思うと、残念な気がする。

たんけん教室

身近な自然の中で大勢の仲間と身体を使って遊び、遊びを通して身近な自然や文化財など、地域の成立ちを学ぶ機会とした。

期 間 平成元年4月22日(土)～平成2年4月1日(日) 土曜日は午後2時～5時、
日曜日・祝祭日は、午前8時位から午後5時まで 全27回

会 場 白梅分館、多摩川、滝山丘陵、草花丘陵など

参加者 延べ参加者数 353人

講 師 岡田紀夫氏の他、実技指導員数名を依頼した。

月 日	テ ー マ	内 容
4. 22	オリエンテーション	自己紹介とこの教室、スタッフや用具の紹介など
5. 21	滝山オリエンテーリング	地図とコンパスの使い方を実際の山の中で学ぶ
7. 2	自転車で遊ぶ	滝山丘陵を自転車で走り回ってみる
15	夏休み打ち合せ	夏休みの事業の具体的な説明と注意点を説明する
24	沢遊びに挑戦	川井駅近くに流れ込む大丹波川で沢登りの体験をする
25	岩登りに挑戦	天覧山に行き、フリークライミング初級コースに挑戦
9. 2	ウォークラリー準備	子ども達の企画立案によるウォークラリーを準備
9	〃	〃
23	菅生丘陵を歩く	草花丘陵の奥に位置する菅生丘陵の林の観察に行く
30	ウォークラリー準備	子ども達の企画立案によるウォークラリーを準備
10. 7	〃	〃
8	なんでも食べちゃおう	滝山丘陵でクリ・アケビ・ジネンジョを食べてみる
14	ウォークラリー準備	子ども達の企画立案によるウォークラリーを準備
21	〃	〃
28	〃	〃
11. 11	〃	〃
18	〃	〃
19	ウォークラリー本番	ウォークラリーの本番。熊川地域を半日かけて歩く
23	奥多摩たんけん	棒の折山の二次林の様子を観察
12. 9	たんけん忘年会	今までをビデオや写真などで振り返ってみる

月 日	テ ー マ	内 容
12. 10	滝山の冬を経験する	滝山丘陵でネイチャアーゲームを実践する
2. 3	奥多摩たんけん打合せ	冬の奥多摩に出かけるための詳細な注意事項の確認
11	奥多摩で雪合戦	雷電山の二次林の様子やそこに住む野鳥などの観察
3. 10	ファミリーハイキング打合せ	奥多摩ハイキングのコース検討をする
25	ファミリーハイキング下見調査	子ども達の立案したコースを実際に歩いて調査する
26	ファミリーハイキング資料作り	調査に基づき資料を作成し仲間や家族を誘う
4. 1	ファミリーハイキング	一年間の成果を家族や仲間の前で披露する

総 括 今年雨天中止が少なく、順調に内容が消化出来た。滝山丘陵でのネイチャアーゲームは特に人気があり、今の子供達は大勢で自然の中で遊ぶ力は持っているが、その機会が無いために、本来の力を発揮できないでいることが分かった。しかし、観察する力そのものは、年々弱くなっているような気もする。

夏休み子ども音楽ひろば

児童期の子どもの音楽に親しむ機会、仲間づくりへの契機、そして地域（市民）文化活動への基礎づくりの機会として以下のように実施した。

期 間 平成元年7月27日～8月31日 午前10時～正午 全7回

会 場 白梅分館

参加者 30人×7回＝210人

回	月 日	内 容	備 考
1	7. 27	オリエンテーション	指 導（ピアニスト） 山下 やよい氏
2	8. 10	楽しい歌の練習（１０曲）数曲二部合唱	
3	13		
4	17	リトミック及び音楽遊び（各種）	
5	24		
6	27	リコーダー、打楽器による上記歌の合奏	
7	31	まとめ ミニおさらい会	

小学生の一般参加と学童保育児童の参加で実施。白梅利用者発表会に参加計画中。

(3) 青 年

夏のボランティア活動体験

青少年がボランティア活動にかかわるきっかけとして実施した。

期 間 平成元年7月19日(水)～8月28日(月) 全11回

会 場 公民館本館およびボランティア受入れ施設

参加者 延べ71人

月 日	内 容	場 所
7. 19	説 明 会	公 民 館
	ボランティア受入れ施設 サンシャインビラ 青梅学園 若葉保育園 青年学級「にじのはらっぱ」 れんげ作業所 おもちゃ図書館	
8. 28	交 流 会	公 民 館

総 括 今年度はじめて、昨年度経験者によるスタッフが、事前に青梅学園、松楓園、太陽の家の見学会を実施し、ボランティア活動に関する理解を深めた。

(4) 障 害 者

青年学級「にじのはらっぱ」(障害者青年学級)

障害を持った青年が、集団活動を通して仲間づくりや基礎的生活習慣を身につける場として実施した。

期 間 平成元年5月14日(日)～平成2年3月11日(日)

会 場 公民館本館および野外

参加者 26人×22回＝572人

回	月 日	内 容	場 所
1	1. 5. 14	開 級 式	公 民 館
2	28	ハイキング	草 花 丘 陵
3	6. 11	室内活動（音楽）	公 民 館
4	25	高尾自然科学館	高 尾
5	7. 9	公民館のつどい	公 民 館
6	23	河川清掃・合宿打合せ	多 摩 河 原
7	30～31	夏期合宿	西 湖
8	8. 13	プール	一 中 プ ー ル
9	9. 3	室内活動（陶芸）	公 民 館
10	17	スポーツ（スポーツ）	三 小 体 育 館
11	10. 15	室内活動（調理）	公 民 館
12	22	社会科見学	原 宿
13	11. 5	文化祭・弁論大会準備	公民館・白梅分館
14	19	いも煮会	南 公 園
15	12. 10	弁論大会	公 民 館
16	17	忘年会	松 林 分 館
17	2. 1. 7	新年会、書き初め（文字）	公 民 館
18	21	室内活動	〃
19	28	交流ボーリング大会	ダイヤモンドボール
20	2. 18	合宿打合せ	公 民 館
21	25～26	冬期合宿	苗 場
22	3. 11	閉 級 式	公 民 館

総 括 今年度より班活動（室内活動）を充実させ、音楽・文学・粘土・調理・スポーツの各内容で実施した。5回の室内活動日は、午前中その回のテーマの活動を全員でおこない、午後各班の活動に移ったが、まとまった内容をこなすには午後のみでは時間がたりないようであった。学級生の代表から成る「運営会議」もより充実してきて、より自主的な学級になりつつあるようである。

聴覚障害者のための映画会

聴覚障害者のために字幕付き邦画を上映し、映像文化に接する機会を設けた。

期 間 平成元年4月28日（金）～平成2年2月23日（金）

会 場 公民館本館

参加者 70人

月 日	作 品 名	入 場 者 数
1. 4. 28	塀の中の懲りない面々	17
6. 30	新・喜びも悲しみも幾年月	20
10. 27	1000年女王	15
2. 2. 23	野菊の如き君なりき	18

総 括 入場者は少ないようだが、毎回楽しみにしている固定客もふえてきている。

邦画を楽しむ機会の少ない聴覚障害者には、この映画会は貴重な場であろう。

(5) 婦 人

婦人学級「魅力あるお母さんでいるために」

子育てに夢中でゆとりある生活を忘れていないだろうか。たしかに子育ては大切なことだが、今、もっと大切なことがあるのではないか。保育室に子供をあずけることを通して、その大切なものを探ってみた。

期 間 平成元年6月2日 午前10時～正午 以後毎週金曜日 全15回

場 所 公民館本館

参加者 13人×15回＝195人

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
6. 2	オリエンテーション	学級の内容と保育室に子どもをあずける意味を説明	
9 16 23	仲間づくり	自己紹介文を書いてもらい、それをもとに仲間づくりの話し合いを行った	
30	保育室の様子から	保母を交えて保育室の様子を聞いた	中村けい子氏

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
7. 7	学級をどう進めるか	参加者から学級の進め方について意見が出たので、プログラムの調整を行った	
14 21	エアロビックダンス サイズ	エアロビックスダンスを中心に、身体と心をリフレッシュしながら、ゆとりとは何かを話し合った	木下 和子氏
28	保育室の様子から	仲間関係、生活リズムについて聞く	梶谷 克子氏
8. 25	夏休みの話題から	夏休み中の交流を発表した	坂本由美子氏
9. 1 8	エアロビックダンス サイズ	本当の健康とは身体だけではなく、心も家庭もすべてではないかという話しを交えながら	木下 和子氏
22 26	保育室の様子から	子どもの成長とは、仲間の中で育つこととはなど、親同志、子供同志のつながりについて話し合い	佐々木京子氏 矢戸 夏子氏
10. 6	自主化に向けて	これからの活動について	

婦人問題講座 女のやみなべ

(性別役割分業をうちこわすために)

婦人問題を様々な視点から考えて行くために、本年度は前期に準備会で講座の視点を明確にし後期の講座開催につなげていった。準備会の中では集った女性が各分野別に事業を組み立てて行く方法をとった。またチューターとして村田晶子氏、西山千恵子氏を招き問題の提起や整理に助言をいただいた。

期 間 平成元年4月21日～平成2年3月16日 全23回

会 場 公民館本館

参加者 198人(延べ)

女 と 家 族	11月8日(水) 11月17日(金) 夜7:30~10:00	女にも男にも刷り込まれているらしい、“性別役割分業”ってなんだ? 「女らしさ」「男らしさ」を、家族をキーワードにして問い直す。	桜井 陽子氏
女 と からだ	12月1日(金) 12月8日(金) 夜7:30~10:00	私のからだは私のもの。からだについて考えてみると、心とのつながりが見えてくる。実際にからだを解き放してみると、新しい自分を発見できるかもしれない。	仁科きぬ子氏
	12月15日(金) 夜7:30~10:00	自分の子宮の大きさを知ってる? 女性の等身大の人体模型を使って遊びましょ。	石橋 初子氏
女 と 労 働	2年1月19日 (金)夜7:30~ 10:00	選んでいるようで選ばされているのが女の働き方だと言われています。今、女の6割以上が働いているけれど、いろいろ問題もありそう。女が真に望む働き方ってなんなのか、一緒に考えてみましょう。	大須賀啓子氏
女 と 技 術 (入門編)	2年2月19日 (土)午後2:00 ~4:30	タイヤ交換やオイル交換、チェーンの取り付けなど必要な手が出なかった技術に挑戦してみませんか	田村美奈子氏
フェミニズム 入 門	2年3月16日 (金)夜7:30~ 10:00	フェミニズムを知ることは、20世紀最大の冒険なんだって。胸の中のモヤモヤが、フェミニズムの水先案内で晴れてくる。／ ところでフェミニズムってなんだ?	江原由美子氏

総括 婦人問題担当の女子職員が育児休暇を1年間に渡って取ったために、2人のチューターを招いて本年度は行った。準備会での組み立てが良かったせいか講座の中味やチラシ等が生々としているものが多かった。この点は今後の講座等に充分繁栄させるべきだろう。

ときめき発見講座

主婦のおかれた現状を学び、そこから自分たちの課題をさぐりだし、主婦が外に目を向けるきっかけとする。

期 間 平成元年11月15日(水)~3月14日(水) 午前10時~12時 全15回

会 場 公民館本館

参加者 15人×15回=225人

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
11. 15	オリエンテーション	講座・保育室の説明、自己紹介	
22	ときめき探険隊自己紹介	自己紹介	
29	私にとってのときめきとは	参加動機と現在の生活	
12. 6	保育室は託児所とは違います	公民館保育室とは	高橋 文江氏 (保育者)
13	あなたの毎日ときめいていますか	主婦のおかれた状況と課題	田中喜美子氏 (わいふ編集長)
20	老後にときめきはあるのか	老後の主婦と課題	
1. 10	育児書を捨てて、外に出よう。!	講師の話をきいて	
24	子どもたちだってときめいている 1	保育室の子どもたちの変化	赤井久美子氏 (サンケイリビング 副編集長) 中村 絹江氏 (ぐるうふかつぼぎ) 赤井久美子氏 (サンケイリビング 副編集長) 宍戸 夏子氏 (保育者)
31	現代パート事情	主婦と仕事	
2. 7	いきいき地域人	主婦と地域活動、運動	
14	主婦だって遊びたい。!	主婦と遊び	
21	ときめき発見ママになれたかな	講師の話をきいて	
28	子どもたちだってときめいている 2	保育室の子どもたちの変化	
3. 7	パーティーを企画しよう	講座の感想とパーティーの企画	
14	みんなでときめきパーティー	参加者の企画で	

総 括 今回は、女性問題の視点、特に主婦と仕事、地域活動、遊びにスポットをあてて講座をくみたてたが、参加者により受けとり方は様々であった。大半は、母親が子どもをかかえるという前提があつての仕事であり、地域であり、遊びであり、そのかべをこえて、考えていくためには、経済的自立と子育てを話し合う時間を増やした方がよかったかもしれない。

また、新人類といわれる青年層が参加者になってきたのも、ひとつの要因である。いぜんよりも、子育てを楽しむという傾向が強まっている参加者にどのように女性問題を考えるきっかけを与えていくのか、ひとつの課題である。

家庭教育学級「小学生」準備会

講座のプログラムを市民と共に作り上げることを目標に、現在、小学生を持つ親（母親）を主な対象として実施した。

期 間 平成元年 9月21日（木）～10月5日（木）

会 場 公民館本館

参加者 3人×3回＝9人

月 日	内 容
9. 21	いま抱えている問題点や思っていることを出し合っていこう
9. 28	プログラム（案）を検討する
10. 5	資料を読み合う

総 括 準備会ということで人数があつまらなかったが、それぞれの思うところが出せ、手応えを感じた。

家庭教育学級「小学生」

近年、子どもをめぐる状況はますます厳しいものになってきています。学校教育をはじめとしていろいろな場面で、管理主義的色彩が濃くでていて、息苦しい（生きづらい）状況はますます深まっています。もちろん何から何まで自由奔放にというわけにはいきませんが、子どもは保護・育成されるべきもの…という対象から、子どもの人権を尊重する…というような流れの中で「子どもの権利条約」が採択されました。

この様な視点をふまえ、子どもにとって生き生きと豊かに生きるということはどういうことなのか、教育や文化、生活全般について、主に小学生の子どもを持つ親（母親）を対象に実施した。

期 間 平成元年11月30日～平成2年2月8日 午前10時～正午

会 場 公民館本館

参加者 34人×8回＝272人

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
11. 30	いまだきの子ども	子ども110番の電話相談等を通して今の子ども達のかかえている状況を見ていく。	遠藤美枝子氏 (子ども110番 チーフ)
12. 7	うちの子ども	自分の子どもを通して見えてくる様々な問題を出し合っていく	
14	友達って何だろう	豊かな友達関係を作るための大人の関わりと子どもの成長・発達を考える	井上 健治氏 (東京大学)
21	子どもの心とからだ	子どものからだの発達と心の発達を探っていく	正木 健雄氏 (日本体育大学)
1. 11	教育はどこへいく	新学習指導要領を学ぶ中から、その問題点と私達の課題を探る	海老原治善氏 (東京学芸大学)
18	増えている登校拒否	登校拒否を正しく認識し、子どもを真正面から受け止めながら、教育や文化について考えていく	西條 隆繁氏 (登校拒否児とともに歩む父母の会)
25	子どもの目の高さで	教育や文化の問題をもう一度、子どもの側からとらえなおしてみる	斎藤 次郎氏 (評論家)
2. 8	まとめと反省	講座の内容を確認し、今後につなげる	

総 括 教育の問題について、これ程までに参加者が集まったのは、それぞれの関心の高さを表していると考えられる。講座の内容については、準備会の内容をふまえて編成したが、各自の関心をカバーするために、やや総花的になってしまったようだ。

そこが知りたい子どものからだ

昨年実施した「子どものこころ」に続き、隔離された母子関係から子どもを離し、あらためて子どもの育ちを「からだ」に注目してみつめる機会とした。

期 間 平成元年6月5日(月)～10月2日(月) 午前10時～正午 全15回

会 場 公民館本館

おかあさんのカメラワーク

カメラ機材にこだわらず、手持ちのカメラを使って子どもの成長や真の姿に目をとめる機会として実施した。

期 間 平成元年7月7日（金）～8月23日（水） 午前10時～正午 全5回
 会 場 公民館本館、中央図書館および東京工芸大学
 参加者 8人×5回＝40人

月 日	内 容	講 師	会 場
7. 7	カメラとフィルムのいろは	奥村 嘉邦氏 (東京工芸大学)	公 民 館
14	子どもの目の高さで		"
21	動きをとらえる		"
8. 2	現像・プリント		東京工芸大学
23	"		中 央 図 書 館

総 括 講座終了後、公民館ギャラリーを使つての作品発表会をおこなつた。今回、講師の厚意で東京工芸大学の暗室を使つて現像をすることができた。記念写真的でなく、子どもの動きの瞬間をそのままとらえることを主眼においた。

家庭教育学級

子育てをテーマに、手づくり絵本をつくりながら、改めて、自分の子育てを見直し絵本や、子どもの文化を考える機会にした。

期 間 平成元年6月7日～10月18日 午前10時～12時 全15回
 会 場 松林分館
 参加者 18人×15回＝270人

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
6. 7	オリエンテーション	保育について、これからの学習に	担当職員
14	子育てについて	子育ての現状について	"
21	絵本とは	私の絵本論	木住野利明氏 (絵本作家)
28	ストーリーを作る	絵本のストーリーを創る	

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
7. 5	ストーリーを作る	絵本のストーリーを創る	木住野利明氏
12	子育てについてⅡ	保育だよりを読む	佐々木京子氏
19	絵本の技法	彩色の方法	木住野利明氏
26	絵本の製作	絵本の製作、まめ本を作る	〃
8. 30	絵本の製作	〃	〃
9. 6	絵本の製作	〃	〃
13	保育室を考える	保育だよりを読んで	高崎 文江氏
20	絵本の製作	絵本の製作	木住野利明氏
27	絵本の製作	製本技術を学ぶ	〃
10. 4	絵本の製作	絵本完成、合評会	〃
18	保育を考える	子どもの育ちをとらえる眼	田中 加代氏

主婦再就職への設計図

再就職を希望する主婦が多い中で、実際に就職しようとしても、なかなか良い職場が見つからないのが現実である。そこで、資格を取ることで、すこしでもよい就職口を求めようとする講座です。今年は日商簿記2級をめざしました。

期 間	平成元年7月15日(土)～11月18日(土)	全53回
	日曜日は	午前9時30分～12時
	月曜日と木曜日は	午後6時30分～9時
	土曜日は	午後2時～4時30分
会 場	松林分館 他	
参加者	20人×53回＝1,060人	
講 師	伊藤一夫氏(元職業訓練校講師)	

月	日	内 容
7.	1 5	オリエンテーション、商業簿記・現金預金取引
	2 0	商業簿記・現金預金取引
	2 2	商業簿記・現金預金取引
	2 9	商業簿記・有価証券取引
8.	3	商業簿記・有価証券取引
	7	商業簿記・有価証券取引
	1 0	商業簿記・債権・債務取引
	1 2	商業簿記・債権・債務取引
	1 4	商業簿記・債権・債務取引
	1 7	工業簿記・材料費
	1 9	工業簿記・労務費
	2 0	工業簿記・労務費
	2 1	3級の復習・三分法について
	2 4	工業簿記・経費
	2 6	工業簿記・経費
	2 8	3級の復習・種々な債権債務
	3 1	工業簿記・製造間接費
9.	2	工業簿記・製造間接費
	3	工業簿記・製造間接費
	4	3級の復習・手形取引
	7	工業簿記・部門費
	9	工業簿記・部門費
	1 0	商業簿記・手形取引
	1 1	3級の復習・減価償却について
	1 4	商業簿記・手形取引
	1 6	商業簿記・商品売買取引
	1 7	商業簿記・商品売買取引
	1 8	3級の復習・見越し繰延べ
	2 1	商業簿記・商品売買取引

月	日	内 容
9.	23	工業簿記・個別原価計算
	24	工業簿記・個別原価計算
	25	3級の復習・精算表と決算
	28	工業簿記・総合原価計算
	30	工業簿記・総合原価計算
10.	2	3級の復習・まとめ
	5	工業簿記・総合原価計算
	12	商業簿記・固定資産、損益取り引き
	14	商業簿記・決算
	15	商業簿記・決算
	19	商業簿記・株式会社会計
	21	商業簿記・株式会社会計
	22	商業簿記・株式会社会計
	23	商業簿記・予備費用
	28	商業簿記・本支店会計
	29	商業簿記・本支店会計、工場会計の独立
11.	2	商業簿記・帳簿組織
	4	商業簿記・伝票会計
	5	商業簿記・製造原価報告書
	6	商業簿記・標準、直接原価計算
	11	既出問題研究と模擬試験
	12	既出問題研究と模擬試験
	16	既出問題研究と模擬試験
	18	既出問題研究と模擬試験

総 括 最初は40回を予定したが、参加者の中に日商3級の資格がないが、ぜひ参加したいという人が数人いて、3級の復習や2級の補習の講座を急に入れたため、長い講座になってしまった。週4回講座があることもあり、予習・復習もあるので、参加者の努力は大変だったと思うが、参加者の夫の協力も、並大抵のことではなかったと思う。

そういうことで、婦人問題の理解につながった人もいたことだろう。

夫婦での努力の結果、多くの人が合格し、満点や、2級と3級が両方とも受かった人がいた。

女性のための囲碁教室

人生80年を夫婦ともに歩むにあたり、共通の趣味とするため囲碁の講座を実施した。また女性どうし、よい碁敵が見つかることを目指して実施した。

期 間 平成元年10月18日(水)～12月20日(水) 午前10時～12時

全10回

会 場 松林分館

参加者 13人×10回=130人

講 師 藤井 廣氏(日本棋院普及指導員)

月 日	内 容
10. 18	碁とはなにか
25	碁のルール
11. 1	石の連絡と切断
8	石の取り方
15	石の生死
22	テクニック
29	盤上の名称
12. 6	石の能率
13	石と石との戦い
20	終わりの打ち方

総 括 前半の1時間が講義で、後半の1時間は9路盤で実戦をした。講師の話を変に真剣に聞いていたり、後の実戦でも、勝負にこだわる様子がみえ、参加者は充実した時間を送ることができたと思う。

家庭教育学級「保育のこと、なんでも考え話し合おう」

幼児の心の発達、栄養、病気について講師に話していただき、また、保育園で実際に子そだてを行っている主任保育さん、園長先生に来ていただき、子供の成長の様子や、家庭に必要な子そだてを話していただき、それを基に感じたことを話し合っていく。

期 間 平成元年11月9日（木）～平成2年3月15日（木） 午前10時～12時

全15回

会 場 松林分館

参加者 11人×15回＝165人

月 日	内 容	講 師
1 1. 9	保育室紹介	
1 6	自己紹介	
3 0	幼児の心の発達について①	大堀容子氏（幼児教育研究者）
1 2. 7	保育室での子どもの様子①	中村けい子氏
1 4	幼児の栄養管理について	谷口美津子氏（管理栄養士）
2 1	幼児の健康管理について	阿部 セツ氏（保 健 婦）
1. 1 1	映画「善悪のけじめ」観賞	
1 8	保育室での子どもの様子②	宍戸 夏子氏
2 5	幼児の心の発達について②	大堀 容子氏
2. 8	お母さん同士の話し合い①	
1 5	保育園での幼児①（共に育ち合う場）	市川幾与恵氏（保育園園長） 野村喜美枝氏（保育園主任保育）
2 2	保育園での幼児②	
3. 1	保育園での幼児③	
8	お母さん同士の話し合い②	
1 5	保育室に参加して、まとめ	

総 括 講師の話は、育児に関する心の発達、栄養面、病気のこと、といった多種の内容だったが、興味のある内容だったようで、お母さん方は、皆真剣に聞き、講師への質問も難しいものがあった。

幼児教育学級「たのしい子育てひろば」

「元気で、活発な子どもに育ってほしい。」そんな願いを実現していけるよう、・幼児期の発達、・親の対応や子ども発達環境づくりを考え、地域にすてきな仲間の輪を広げていけるよう以下のように実施した。

期 間 平成元年11月13日(月)～平成2年3月26日(月) 午前10時～正午 全15回

会 場 白梅分館

参加者 20人×15回=300人

回	月 日	テ ー マ	内 容	備 考
1	11. 13	内容紹介	保育室参加の話し合い	話 し 合 い
2	20	〃	自己紹介・幼児教育学級紹介	〃
3	27	幼児期の発達Ⅰ	幼児期の発達段階と原体験	大堀 容子氏
4	12. 4	保護者学習会①	保育室での子どもの様子	保 育 者
5	11	幼児期の発達Ⅱ	動作・行動と子どもの発達	大堀 容子氏
6	18	生物である人間	生物としての人間と育児	宮岡 一雄氏
7	1. 22	自由交歓	私達の生活の歩みと育児	話 し 合 い
8	29	保護者学習会②	保育室での子どもの様子	保 育 者
9	2. 5	自由交歓	子育てよもやま話し	話 し 合 い
10	19	非行の芽	少年非行と幼児期の発達	川辺 進氏
11	26	保護者学習会③	保育室での子どもの様子	保 育 者
12	3. 5	自由交歓	夫の子育て参加、親の仲間作り	話 し 合 い
13	12	遊び場づくり	思いっきり遊べるプレイパーク	天野 秀昭氏
14	19	保護者学習会④	保育室での子どもの様子	保 育 者
15	26	まとめ	これからの私達の活動について	話 し 合 い

総括

終了後“はだかんぼ”として自主保育活動開始。市内の公園で集う活動も実施されている。

婦人のひろば

婦人の仲間づくり、ライフスタイル形成を目標に、今回直接衣食住に役立つ“ボード織り”講習会を中心に以下のように実施した。

期 間 平成元年7月3日(月)～8月21日 午後7時30分～10時 全5回

会 場 白梅分館

参加者 25人×5回=125人

回	月 日	内 容	備 考
1	7. 3	・ボール板を使用しての織物づくり、毛糸で、	小金井老問研 ボード織り指導 倉橋 良子氏
2	10	ウェア・帽子・飾りベルトづくり	
3	17	・作業と同時に生活よもやま話し、地域福祉等	
4	8. 7	について話し合い。	
5	21		

講座終了後、作品は10月に仕上げ市民文化祭に出品。白梅利用者発表会にはゴキブリ退治だんごづくりなどで参加。

家族新聞をつくる

子育て中の親が、子どもに対する思いを残す方法の一つとして家族新聞があると思う。

今回は、家族新聞作りを通して家族や子育てに向かう母親のあり方などを考える機会として実施した。

期 間 平成元年6月1日(木)～10月5日(木) 全15回

会 場 白梅分館

参加者 母親16人 延べ参加者数195人

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
6. 1	オリエンテーション	この教室の説明・自己紹介など	担当職員
8	女性のライフサイクル	子育て以降の自分の生活の視点を考える	担当職員
15	子どもの成長と私	子どもの育つ力と育てる側の問題	大堀 容子氏
22	保育室の様子を聞く	子どもの成長の様子を保育者から聞く	中村けい子氏
29	家族新聞を作る	家族新聞とは何か、具体的な作り方	竹縄 良一氏

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
7. 6	家族新聞を作る	具体的な家族新聞の紹介	竹縄 良一氏
13	〃	割付、文字などのレイアウトなど	〃
20	〃	作品の講評と次号の作り方のアドバイス	〃
27	保育室の様子を聞く	夏の過ごし方や育ちの状況などを聞く	坂本由美子氏
8. 31	家族新聞を作る	カットの描き方などについて学ぶ	榎本 隆氏
9. 7	〃	〃	〃
14	保育室の様子を聞く	夏休み後の子どもの育ちの変化を聞く	高崎 文江氏
21	家族新聞を作る	実際の家族新聞作りを自分たちで行う	担 当 職 員
28	家族新聞を作る	各自で作った新聞をみんなで評価しあう	担 当 職 員
10. 5	保育室の様子を聞く	子どもの育ちを仲間関係の中で確認する	宍戸 夏子氏

総 括 子どもの成長を日々目にしている母親が、自分の思いを記録に残すという習慣はそれほど多くないようだ。子どもの成長を客観的に観察し新聞を発行するという作業は、簡単なようではなかなか出来ない。しかし、子どもの記録がビデオや写真だけでは味気ないということも、気が付いている母親が多かった。

本館保育室連絡会

保育室利用サークル同士、公民館との連絡調整、情報交換などのために実施した。

会 場 公民館本館

参加者 8人×4回＝32人

月 日	内 容
4. 28	連絡会の趣旨説明、保育室利用について（日程など）、情報交換、今後の持ち方について
5. 27	保育室の備品などについて、保育室の整理・清掃
10. 14	保育室の利用について（日程など）、情報交換、保育室の整理・清掃
11. 30	公民館・保育室の利用について、公民館の備品について、情報交換

総括 各サークルでかかえている問題点等を出し合う中から、より密度の濃い交流が出来てきているように思うが、保育や親の活動など、内容も含めもう少し深めあえれば良いと痛感する。

松林保育サークル交流会

松林分館で活動する共同保育サークルの交流と学習の機会とした。

期 間 平成元年4月26日から3月まで 午前10時から12時 全9回

会 場 松林分館

参加者 15人×9回=135人

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
4. 26	保育室の様子	保育室の様子を出し合う	担当職員
6. 19	おもちゃ	おもちゃの片づけについて	〃
7. 28	いま、子どもは	いま、子どもたちは	〃
8. 28	共同の子育て	子育て共同の大事さ	〃
9. 29	〃	〃	〃
10. 30	保育室について	保育室のローテーションについて	〃
11. 22	子と離れること	何故、保育で母・子分離をするのか	〃
12. 6	保育室そうじ	保育室の整理	〃
2. 2	子と離れる意味	子と離れる意味	〃

(6) 成人、一般

市民文化教室

1. 主 催 福生市公民館・福生市文化連盟

2. 目 的 多くの市民に趣味や実技、教養に関する初歩的学習の機会を提供することによって、市民の文化諸活動への参加を促し、市民文化活動の拡大に役立てる。

公民館は、連盟の力を伸ばすとともに、市民の学習の場を拡大していく。

文化連盟は、連盟の持つ力を市民に提供することによって、市民文化形成のリ

ーダーの役割を果たすと同時に、組織の拡大（参加者や学習面）に役立てる。

コース	開 講 期 間	内 容	指 導 者	参加人員
俳 句	5月11日（木）から 全10回 午後	俳句の初歩	来住野臥丘氏	150人
社交ダンス	7月13日（木）から 全10回 夜間	初心者対象の基本ステップ	宮本ハツ子氏	340人
民 謡	8月19日（土）から 全10回 夜間	佐渡おけさ、秋田おぼこ 真室川音頭	沢田 春駒氏	250人
茶 道	7月12日（水）から 全10回 午後	裏千家の点前	山田 宗恵氏	200人
民 踊	8月10日（木）から 全10回	飯坂小唄、天竜下れば 他	東山夢寿々世氏	150人
編物手芸	9月 6日（水）から 全10回 午前	子供用ベスト、冬物プルオーバー	堂田きよ子氏	140人
書 道	9月 1日（金）から 全10回 午前	初心者向けのかな、漢字	私市 石蘭氏	300人
人 形	6月29日（木）から 全10回 午後	木目込人形の作成	酒井 虹晨氏	70人

公民館主管コース（3コース）

コース	期 間	内 容	指 導 者	参加人員
初 心 者 ワープロ 教 室	12月6日（水）～ 12月8日（金）午後 全3回	ハンディタイプのワードプロセッサの基本操作と簡単な文章作成	遠藤 理恵氏 井梅 靖子氏	30人
ステンド グ ラ ス 教 室	5月18日（木）～ 12月14日 午後 全30回	直径28cm 高さ18cmのブドウ柄のティファニーランプシェードの作成	岩浪 正明氏 津田 映子氏 鹿住 雅子氏	240人
	7月12日（水）9月13日（水）夜間 全10回	ミニランプシェードの作成		50人

こだわり講座「パッチワークキルト」

こだわり講座の名のごとく、自分一人ではなかなかできない大作に挑戦した。

期 間 平成2年1月11日(木)～3月29日(木) 午後1時30分～4時30分

全11回

会 場 公民館本館

参加者 14人×11回=154人

講 師 大竹 孝氏(パッチワークキルト研究家)

内 容 180cm×150cmのタペストリーの製作

総 括 大作のわりには11回と期間が短かいので、自宅での作業が多くなることをかくごしてもらったのだが、それでも期間内では完成しなかった。しかし参加者、講師の協力により自主サークルをつくり6月1日から3日までの作品展を開催するという目標を設定したおかげで、どうにか全員が完成した。期間設定については回数はこの程度でよいが、実施日は隔週にした方がよいであろう。

また、同時期に行っていた木工教室の担当職員(中根主事)の協力を得て、パッチワークの仕上げの時に使う台座を製作したが、これが参加者には非常に評判が良かった。

これからの趣味講座については、いくつかのものが組み合わさっていくと、より魅力あるものになっていくのではないだろうか。

こだわり講座「そばを極める」

昨年行ったこだわり講座「新そばを打つ」の中で、こだわり講座というなら、そばを打つだけでなく、そばを作ったらどうか、それだけでなくは本当のこだわりではないという話から、今回は自分達で種をまき収穫し、それを自分で作った器で食べるという、すべてにこだわってみた。

期 間 平成元年8月13日(日)～11月22日(水) 全9回

場 所 公民館本館、白梅分館、福生市内

参加者 11人×9回=99人

日 時	テ ー マ	内 容	講 師
8. 13 午 前	種 蒔 き		村野 守男氏
8. 20 午 前			
10. 18 夜 間	そば打ち		豊隅 正樹氏
10. 28 夜 間	そばチョコづくり	土練りから成型	柴田 繁氏
10. 29 夜 間		仕 上 げ	
11. 12 昼 間		素 焼 き	
11. 16 夜 間		絵 付 け	
11. 19 全 日		本 焼 き	
11. 22 夜 間	そば打ち		豊隅 正樹氏

市民大学講座・法律「民法（相続編）」

市民生活に密着した法「民法」、財産法中とりわけ関心の高い相続編を取りあげ、いざという時にまどわない相続の方法を考える機会とした。

期 間 平成元年9月27日（水）～10月25日（水）

午後7時30分～9時30分

会 場 公民館本館

参加者 12人×4回＝48人

月 日	内 容	講 師
9. 27	相続ということ	石 川 稔 氏 (上智大学教授)
10. 4	遺言の方法	
18	相続分配	
25	ま と め	

総 括 相続問題に直面した高齢者の方だけでなく、幅広い年齢層の市民の参加があった。それだけこの問題に関する市民の関心の深さを感じた。

地球発SOS.／ ～子どもたちの未来と環境～

今、問題になっている地球規模の環境破壊。しかし、私たちはどれだけの事実を知らされているのだろうか。環境破壊の現実を認識するとともに、それが私たち大人や、子どもの未来に向かってどういう影響を与えていくのか学習する場、そして、私たちは地域で何ができるのか、やっていかなくてはいけないのかを考える場として実施した。

期 間 平成2年1月18日（木）～2月23日（金） 午後2時～4時 全6回

会 場 公民館本館

参加者 39人×6回＝234人（保育室参加者15人×6回＝90人）

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
1. 18	今、子どもたちが危ない。 ～自然流育児のすすめ～	子どもの状況と食生活	真弓 定夫氏 （医師）
26	生命系の危機 ～人と環境～	遺伝と毒素、次世代に毒素を手わたしている私たち	綿貫 礼子氏 （環境問題 研究家）
2. 2	法は私たちを守れるか ～法と食品安全～	食べ物の安全性と法律	神山美智子氏 （弁護士）
9	蝕まれている地球 ～エネルギーと環境～	原発と電力需要、環境問題からエネルギーを考える	藤田 祐幸氏 （慶応大学講師）
16	レンズから見た地球	写真でみるチェルノブイリ、パレスチナ	広河 隆一氏 （フォトジャーナリスト）
23	今、私たちにできることは	地域でできることをだしあう	

総 括 予想以上に参加者が集まった。今、環境問題への関心は高まっているのではないかと。環境問題といえば、ただ安全性の問題という風にとられがちであるが、人間が生きていくうえで、知りたいこと、知る必要があるということを本当は知らされていないという人権的な問題、次世代の環境を考えられる人間としての感性の問題等、これからの人間の生き方や暮らし方を考えるきっかけがふくまれている。このような課題を地域という視点でとらえていければと思う。

シナリオ入門講座

シナリオを通して自分の身のまわりを客観的に観察する目、また自分の思いを表現する力を養い、合わせて、仲間作りの視点をもって実施した。

期 間 平成元年 11 月 9 日～平成 2 年 1 月 11 日 毎週木曜日 午後 7 時 30 分～
 会 場 公民館本館
 参加者 13 人×7 回＝91 人
 講 師 小山 高生氏（放送作家）

月 日	内 容
11. 9	オリエンテーション、簡単な自己紹介、シナリオについての講義
16	自分自身の生活をシナリオ化する＝各人の作品の検討
30	自分自身の生活をシナリオ化する＝各人の作品の検討（続き） 夕焼け小焼けの歌をシナリオ化する＝各人の作品の検討
12. 7	自分自身の生活をシナリオ化する＝各人の作品の検討（続き） 夕焼け小焼けの歌をシナリオ化する＝各人の作品の検討（続き）
14	夕焼け小焼けの歌をシナリオ化する＝各人の作品の検討（続き） 参加者原作の『釣り仲間』をシナリオ化する＝各人の作品の検討
21	参加者原作の『釣り仲間』をシナリオ化する＝各人の作品の検討（続き） もう一度自分自身の生活をシナリオ化する＝各人の作品の検討
1. 11	もう一度自分自身の生活をシナリオ化する＝各人の作品の検討（続き） まとめと講評

総 括 参加者は 13 人と余り多くなかったが、その分、個人の作品を検討でき、良かったと思われる。参加者は毎回の宿題に大変な思いで創作をしたようで、回を重ねるごとに作品の出来ばえが向上していった。

木工作教室

手づくりのあたたかさ、木のぬくもりをふんだんに取り入れた日常生活グッズの製作、今年度は吊り飾り棚に挑戦した。また、木工作の基礎的な技術の習得を目指した。

期 間 平成2年2月10日～3月31日 毎週土曜日 午後2時～

会 場 公民館本館

参加者 8人×8回＝64人

講 師 秋池 俊彦氏（職業訓練校）

月 日	内 容
2. 10	オリエンテーション、自己紹介、道具の説明と仕立て方
17	木取り、自動かんなで基準面を作る、長さ決め
24	長さ決め、幅決め
3. 3	墨付け、加工
10	加工
17	加工（自習）
24	加工、組み立て
31	仕上げ

総 括 今回は基準面作りに自動かんなを使った。素早く正確に出来るのに越した事はないが、手づくりを表ぼうするには楽をし過ぎた……の感がある。

参加者は自分自身の手で作り上げた作品に、「いくらお金を積まれてもゆずれない…」などとやりきった充実感で一杯だった。

オフセット印刷操作講習会

公民館ではサークルやPTA、町会などへの援助の一つとして、オフセット印刷機の貸し出しをおこなっているが、利用者の中で、印刷機の操作に精通している人はほとんどいない。

そこで、ミニコミやチラシなどの印刷を独自におこなえるようにするため、講習会を実施した。

期 間 （前期） 平成元年5月11日（木） 午前10時～正午 午後7時30分～9時30分

（後期） 平成元年10月25日（水） “ “

会 場 公民館本館

参加者 前期 9人 後期 12人

内 容 オフセット印刷機の操作についての説明と実習

講 師 佐藤 勝貫氏

総 括 参加人数が多くはないが、その分、個人個人の実習に時間がとれ、参加者全員が一定程度の印刷機の操作方法をマスターできた。参加者はサークル関係よりもPTA、町会の方が多く、その意味では、サークル活動のひろがりを感じることができなかった。

16ミリ映写機操作講習会

16ミリ映写機の操作技術の修得と、視聴覚教材の知識を身につける機会とした。

期 間 平成元年6月15日(木)～18日(日)
午後7時～10時(18日のみ午前9時～午後4時)

会 場 公民館本館

参加者 10人×4回＝40人

月 日	内 容	講 師
6. 15	操作方法の説明	矢本 敏行氏
16	16ミリ映写機操作練習	佐藤 勝貫氏 上島 茂氏
17	〃	
18	個別操作と修了式	

総 括 修了証を取った人に、それだけでなく、活躍の機会を考えていかなければならない。そのためにも、映写技師を求める側とのスムーズな橋わたしの方法を考える必要がある。

識学学級

なんらかの理由で、義務教育を受けられなかった人々や義務教育を修了しているが、日本語の読み書きが充分できない人、あるいは海外帰国子女で日本語の読み書きが充分でない人々のために、日本語の読み書きを改めて学ぶ機会とした。

期 間 平成元年5月8日(月)～平成2年3月26日 午後1時30分～4時

全40回

会 場 松林分館

参加者 8人×40回=320人

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
5. 8	オリエンテーション	自己紹介、日本国憲法を話す	高崎 伊平氏 (元小学校々長)
15	文学作品を読む	「べろだしちゃんま」 斉藤隆介作	
22	〃	作品解説	
29	〃	感想文を書く	
6. 6		漢字テスト	
12	文学作品を読む	「最初の記憶」＝徳永直作を読む	
19	〃	読みと解説	
26	〃	〃	
7. 3	〃	〃	
10	〃	最初の読後感を話し合う	
17	〃	読後感を書き、自分の最初の記憶を作文	
26	〃	に書く、漢字テスト	
9. 4	夏休みの感想	夏休みの出来事を話し合う	
11	文学作品を読む	宮城まり子著戦仕度の日々より「白い連	
18	〃	勤ぐつ」読み	
25	〃	作品解説 主題の読みとり	
10. 2	〃	〃	
9	〃	〃	
16	〃	「金メダル」の読み	
23	〃	「金メダル」の主題を読みとる	
30	新聞記事を読む	朝日新聞、天声人語	

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
11. 6	新聞記事を読む	天声人語、赤トンボを読む	高崎 伊平氏
13	"	朝日新聞論壇「会話能力を高める」	
20	子どもの権利条約	子どもの権利条約を読む	
27	"	"	
12. 4	学習権宣言を読む	1985年ユネスコ学習権宣言の話し	島田 修一氏 (中央教授)
11	自分の考えを伝える	「ことばの力」を読む	高崎 伊平氏
18	"	"	
25	反省会	反省会とクリスマス会、作文集作成	
1. 23	作文を読む	参加者の作文を読む	
30	文学作品を読む	朝鮮民話「ねぎをはじめてうえた人」	
2. 5	"	「もうふりむかない」読み	
12	"	「テレビとうま」 住井すゑ著 読み	
19	"	田宮虎彦著 「絵本」を読む	
26	"	"	
3. 5	"	"	
12	"	"	
19	"	"	
26	"	作品解説	

PTA講座

PTAに関する基本的知識の確得と運営に関する知識を得ることを目的に開催した。

期 間 平成元年5月18日(木)～6月29日 午前10時～正午 全7回

会 場 松林分館

参加者 10人×7回＝70人

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
5. 18	P T Aの課題は	今日のP T Aの問題を話し合う	担 当 職 員
25	P T Aの歴史	P T Aの歴史（アメリカと日本）	藤田 博氏 （中央大学講師）
6. 1	P T Aの運営	P T Aの運営（1）	〃
8	P T Aの会計	〃	溝渕 幸太郎氏 （元P T A会長）
15	P T Aの活動	各種委員会活動と役割	〃
22	P T Aの広報	P T A広報活動	前橋 弘子氏
29	P T Aの実践	P T A活動の実践について話し合う	担 当 職 員

4月から5月にかけて準備会を4回開催した。

教育講座

学校教育がさまざまな課題を抱かえている中で、臨教審答申、学習指導要領改定が出されてきたが、その持つ意味を考え、改めて今日の子どもの教育環境を考える場とした。

期 間 平成元年11月9日（木）～3月29日 午前10時～ 正午 全16回

会 場 松林分館

参加者 10人×16回＝160人

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
11. 9	学習指導要領とは	学習指導要領の歴史	徳武敏夫氏（法政大学）
16	〃	学習指導要領の改定の内容は	〃
24	臨教審答申とは	臨教審答申の内容と今後教育は	白井 慎氏（法大教授）
30	いま子どもたちは	子どもの現状を考える	林友三郎氏（教育評論家）
12. 7	学校と地域を結ぶ	今日の学校教育の現状をさぐる	〃
14	教育とは、	公教育とは何かを考える	担 当 職 員
1. 18	教育とは、	岩波新書 “教育入門”を読む	〃
25	〃	〃	〃
2. 1	〃	〃	〃
8	〃	〃	〃

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
2. 15	教育とは、	岩波新書 “教育入門”を読む	担 当 職 員
22	”	”	”
3. 1	”	”	”
8	”	”	”
15	”	”	”
22	”	”	”
29	”	”	”

教育講座の準備会を4月27日から6月30日全10回を開催した。

市民大学歴史講座

現代史として、昭和史を学ぶ機会とした。

期 間 平成元年6月7日（水）から11月1日 午後1時30分～午後4時 全17回

会 場 松林分館

参加者 10人×17回＝170人

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
6. 7	オリエンテーション	自己紹介、現代史を学ぶにあたって	川村善二郎氏 (歴史学者)
14	日本の近代	日本の近代社会と国民 Ⅰ	
21	”	日本の近代社会と国民 Ⅱ	
28	満州事変の道	昭和時代の序曲、金融恐慌の勃発	
7. 5	話し合い	これまでのことを話し合う	担 当 職 員
12	満州事変の道	満州事変の背景、国際的孤立	川村善二郎氏
19	非常時の世相	ファシズムの台頭、世相	
26	準戦体制の強化	満州から華北へ、天皇機関説	
9. 6	日本の近代と農村	近代日本の農村、不況下の多摩農村	
13	多摩の農村	昭和初期の多摩の農村レポート	担 当 職 員
20	”	”	川村善二郎氏
27	15年戦争下の教育	近代国家と教育、日中戦争と教育	

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
10. 4	太平洋戦争への道	第二次大戦と日本	川村善二郎氏
11	〃	〃	
18	戦時下の国民生活	政治体制と国民、戦争の長期化と国民生活	
25	〃	〃	
11. 1	大日本帝国の敗北	1945年8月15日の意味	

事前に準備会を5月17日から3回開催した。参加者年令は30才代から80才まで幅広い参加者であった。昭和の多摩の農村について、昭和初期から15年位までの新聞記事の切りぬきをもとに、各自がレポートを書くことにした。レポートでは、自己体験を重さねて、多摩の昭和初期や不況期の農村についての報告が多かった。そのレポート自体が、史料としての内容を持つものであった。

ホビー教室＝金工作教室＝

彫金の技術を身につける機会とした。

期 間 平成元年11月9日（木）～12月21日 午前10時～正午 全6回

参加者 12人×6回＝72人

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
11. 9	電気スタンド	デザイン作成、切り回し	石橋 初子氏 (彫金作家)
16	〃	電気スタンドを作る、切り回し	
30	〃	ロー付けの技術、電気スタンド切り回し	
12. 7	〃	電気スタンド	
14	〃	〃	
21	〃	作品完成、合評会	

史蹟見学会

福生市内の歴史的景観と歴史的事実をさぐる目的として、史蹟見学会を開催した。

日 時 平成元年6月25日 午後1時～午後5時

講 師 立川愛雄氏（文化財審議会委員）

内 容 玉川上水をたずねる

参加者 15人

松林文庫

地域の子ども達に児童図書を提供することを目的にして開催した。

回 数 40回

参加者 延べ200人

松林ひだまりハイキング「三頭山」

都内で唯一のブナの生息地を、紅葉の時期にハイキングしてみようと計画した。

期 日 平成元年10月8日（日）

場 所 桧原村三頭山

参加者 33人

講 師 榎本 隆氏

コース 松林分館^{バス} 奥多摩有料道路数馬口……都民の森……鞘口峠
……三頭山……三頭大滝デッキ……都民の森……奥多摩有料
道路数馬口^{バス} 松林分館

総 括 紅葉の時期より 十日程度早く、紅葉した木はあまりなかった。また、昼食後ほつり、ほつり降りだした雨が、帰りの都民の森の所では、ザーザー降りになった。
有料道路数馬口まで降りて来たときは一転し、晴れ間も出てきた。都民の森から有料道路数馬口までは、大変きびしい坂道もあったので、けが人が出なかったことは幸だったような気がする。ハイキングプログラムのむずかしさを感じる。

自然観察教室

天然のきのこを採取しながら、紅葉の山歩きを楽しむ。

期 日 平成元年11月3日 午前6時～午後6時30分

場 所 山梨県牧丘町

参加者 33人

月 日	内 容	講 師
11. 3	紅葉の山歩きときのこ採り	新保 通利氏

総 括 天気がよく、富士山と紅葉した山の景色がきれいだった。クリタケやナラタケもたくさん採れ、皆で山分けすることができ、参加者のほとんどが満足されたと思う。

七宝焼講座

七宝焼によるブローチやペンダントの作製を楽しんでもらうとともに、同好者の仲間づくりをめざした。

期 間 平成2年3月2日（金）～3月30日（金） 午後1時～4時 全4回

会 場 松林分館

参加者 10人×4回＝40人

講 師 斉藤美寿子氏（七宝作家）

月 日	内 容
3. 2	ペンダント作成
3. 9	ブローチ作成
3. 23	ループタイ作成。ミニ額作成
3. 30	ミニ額作成

総 括 釉薬の組合せや盛り具合が楽しくもあり、難しくもあったが、皆喜々として、製作に打ち込んでいた。

松林壁画製作実行委員会

松林分館の利用者の間で、「10周年を記念して、後に残るものを何か作製したい。」との話がでて、実行委員会を開くことになりました。そして第1回実行委員会で、タイルによる壁画を作製し、平成2年の「だれでもなんでも展」での展示をめざすことになりました。

月	日	内 容
1 1.	1 1	タイルによる壁画作製が正式に決定。次回からの日程の計画決定。
1 2.	5	茅ヶ崎市立小和田公民館、寒川東中学校見学（壁画の見学と懇談会）
1 2.	9	見学の印象について話し合い。イメージテーマの決定。
1.	2 7	原画の決定
3.	3	作業日程の検討
3.	1 9	原画の拡大作業

国際交流事業

日本人男性と結婚し、福生に住むことになった外国人女性を対象に、日本語の習得や日本文化の理解の機会として実施した。また、市内在住の方々にボランティアとして教室に参加してもらい、交流の機会とした。

期 間 平成元年11月10日（金）～平成2年3月2日（金） 午前10時～正午
全15回

会 場 白梅分館

参加者 外国人女性12人、ボランティア8人 延べ参加者数 165人

月	日	テ ー マ	内 容
11.	10	オリエンテーション	自己紹介とこの教室の説明
	17	日本語と文化の学習	16ミリ映画（英語版）を利用して地震の対策を学ぶ
12.	1	〃	日常的に記入する必要のある書類の記入例を学ぶ
	8	〃	市民課職員から、市役所での対応方法などを学んだ
	15	〃	前回の書類に、家族の名前などを記入する練習を行った
	22	〃	主婦としての知恵をボランティアの人達と情報交換
1.	5	〃	日本での正月の習慣や具体的な挨拶の方法などの紹介

月 日	テ ー マ	内 容
1. 12	日本語と文化の学習	新聞広告の見方やその利用などを実践的に学ぶ
19	"	自宅近くの医療機関などを自分の地図上に記入した
26	"	電話のかけ方・応対を実際の事例から学ぶ
2. 2	"	"
9	"	"
16	"	身近な公園の利用方法などについて話を進めた
23	"	最終回の「ポットラックパーティー」の話し合い
3. 2	"	15回を振り返りながら、反省と展望を出し合った

総 括 日本人の妻として日本人社会の中で暮していこうとしている人達には、言葉や生活習慣を自分の物にして行かなければならないわけで、この問題は「基本的な人権を保障」するという、交流の質的な問題を含んでいる。

しかし、名ばかりの「国際交流」がブームになりかけていると思われる中で、自治体としての根本的な対応を図る必要があると実感した。

自然観察会

身近な自然環境を観察し、私たちの生活と環境の関係を考える機会として実施した。

期 間 平成元年6月4日（日）～平成2年3月11日（日） 午前9時～正午 全9回
9月2日は午後6時～8時30分、滝山丘陵観察は午後3時30分まで

会 場 市内多摩川・滝山丘陵・殿ヶ谷緑地

参加者 延べ参加者数 203人

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
6. 4	夏の滝山	滝山丘陵の初夏の植物の観察。イネ科を中心に観察	宮岡 一雄氏
9. 2	鳴く虫の観察	殿ヶ谷緑地で鳴いている昆虫の観察	栗原 仁氏
3	秋の滝山	滝山丘陵の秋の植物を観察。下草を中心に観察	宮岡 一雄氏
10. 29	多摩川の野草	多摩川の紅葉している水辺植物の観察	宮岡 一雄氏
12. 3	冬鳥の観察	半年ぶりにやってきた冬鳥の観察	岡田 紀夫氏
2. 18	水辺のカモ類	昭和用水堰で見られるカモ類の観察	岡田 紀夫氏
25	草原の鳥	柳山公園周辺の草原の鳥を中心に観察	栗原 仁氏
3. 4	植物の冬芽	上水緑地で植物の冬越しの様子を観察	宮岡 一雄氏
11	滝山の冬鳥	滝山丘陵の冬の野鳥と植物を観察	

総括 福生市内にはまとまった緑地空間がなく、市民は多摩川や滝山丘陵を身近な自然として利用している。これら身近な自然の利用について、市民向けのパンフレットのようなものを作成し、身近な自然を環境教育の材料にし、環境の保護、利用という視点を広めていく必要があると思う。

私達のまちを語り合う

「国際化・情報化・高齢化」が叫ばれ、各自治体が真剣に取り組んでいるが、本来のまちを作る担い手は市民のはずである。市民が豊かな情報を持ち、真剣な討議の出来る機会として実施した。

期 間 平成元年11月29日（水）～平成2年2月7日（水） 全8回

会 場 白梅分館

参加者 14人 延べ参加者数75人

日 時	テ ー マ	内 容	講 師
11. 29	オリエンテーション	自己紹介、具体的な展開などの説明他	担 当 職 員
12. 6	福生を考える	三多摩の情勢と福生市の将来	宮岡 一雄氏
13	変貌する西多摩	秋留台開発と西多摩の変貌予定を聞く	大和田一紘氏
20	東京の中の福生	都の長期計画と三多摩周辺の現実的動向	渡邊 孝信氏
1. 10	福生市の将来は？	福生市の基本計画と今後の対応	野沢 久人氏
24	公園の利用について	環境教育の場としての公園のあり方	中島 慶二氏
31	私達のまちの公園は	福生市の自然と公園の今後について	小野 光朗氏
2. 7	私の考える福生	青年会議所の町づくりアイディア	石井 勇氏

総括 福生の場合河川敷以外にはオープンスペースがなく、河川の持つ意味は大きい。今後は河川敷公園も含めて、単なるオープンスペースと環境教育に利用できる公園を区別して、利用することを考える必要があるように思う。

ワープロ教室

各家庭にあるワープロを使えずに困っている人がいる一方、利用したいという希望も強いのが現状ではないかと思う。そこで、各自が家にあるワープロを持ち寄って使えるような学習機会として実施した。

期 間 平成元年7月5日（水）～ 8月2日（水） 午前10時～正午 全5回
会 場 白梅分館
参加者 20人 延べ参加者数100人

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
7. 5	オリエンテーション	ワープロ各部の名称や機能の紹介	成田 彦六氏
12	ワープロにさわる	書式設定や入力モードの選択のしかた	成田 彦六氏 榎本 隆氏
19	内蔵機能を知る	文字の拡大や移動コピー機能等を知る	〃
26	文書作成にトライ	簡単な文章を作ってみる	〃
8. 2	文書作成実践	均等割付や拡大文字などの機能を使って文章を作ってみる	〃

総 括 人気があったためか、申し込み者が2倍になるほどだった。参加者に聞くと、自分の家にあるワープロの使い方を教えてくれる所は余りないようで、次回もと期待された。

第8回白梅利用者発表会 実行委員会

(1)日頃の公民館活動の成果発表の場とする。(2)個々のグループが同一の目標に向かって活動することにより、交流・親睦を深める機会とする。(3)公民館活動を地域に広め、熊川地区市民の学習・文化のひろば(祭典)として、平成元年5月末を目処に、実行委員会を組織し、準備をすすめた。(実施日、会場、参加者は以下のとおり)

実 施 日	内 容	参 加 者
4月12日（水）	“展示のひろば” 打合せ会	8団体 15人
13日（木）	“演示のひろば” 打合せ会	10団体 18人
17日（月）	実行委員会「企画集約、決定ほか」	25団体 25人
5月15日（月）	最終実行委員会「PR・準備作業」	30団体 30人
31日（水）	「反省会及び打ち上げ慰労会」	30団体 30人

第8回 白梅会館利用者発表会

5月27日(土) 1日目 入場者192人

- 展示のひろば 「藤細工・パッチワーク・レザークラフト・生花・陶芸・ちぎり絵・子ども絵画・夢の模型レールファン展・グループ活動展」 午前10時～午後5時
- お茶席 野だて「久田流お点前」 午後1時～4時
- 親と子のひろば 「うたとパネルシアター」 午後2時～4時

5月28日(日) 2日目 入場者489人

- 展示のひろば 「前日同様」、ゴキブリ退治だんご販売 午前10時～午後5時
- 語らい茶屋 「ふるさと福生を語り合おう」 午前10時～正午
- 演示のひろば 「民謡・民踊・詩吟・おはやし・三味線・コーラス・社交ダンス演舞」 正午～午後3時30分
- フィナーレのひろば 「その場で楽しめる、ダンス・ゲーム・軽体操・合唱・音頭を一緒に、」 午後3時30分～4時30分
(来館入場者計681人)

白梅利用者研修会

現在活動する約55のグループの「学習・文化活動による生活・まちづくり」に向け実施。

実施日 平成2年2月26日(月) 午後7時30分～10時

会場 白梅分館

参加者 15人×1回=15人

2・26	「21世紀への都市生活と公民館」	大東学園専門学校 松田雄孝氏
------	------------------	----------------

研修会以後、第9回白梅利用者発表会実行委員会のスタートとなった。

第9回白梅利用者発表会 実行委員会

実施日 3月14日(水) 午後7時30分～10時

会場 白梅分館

参加者 30人×1回=30人

3・14	“第1回実行委員会” 今年の発表会の趣旨・企画・参加団体について
------	----------------------------------

白梅利用者交流会

公民館白梅分館利用グループの交流、今後の市民文化活動の盛り上がり、館の整備充実、公運審会議報告などの機会として実施した。

期 間 平成元年7月15日(土)～平成2年1月14日 全3回

会 場 白梅分館

参加者 15人+50人+15人=80人

回	月 日	内 容	世話役グループ
1	7. 15	公運審報告、施設利用について、活動交流	合唱グループ
2	12. 25	利用者の年末会館清掃及び交流会	有志多数グループ
3	1. 14	公運審報告、施設整備、活動交流について	詩吟グループ

以後3カ月に1回程度、世話役グループ輪番で実施の方向。

市制20周年記念事業

第九コンサート準備会

市制20周年記念事業を来年度に控え、文化・芸術分野における市民参加事業として「第九コンサート」(市民合唱付)の実施について、以下のように準備会を持った。

期 間 平成元年9月21日～平成2年1月21日 平日夜・日曜午前 全5回

会 場 公民館本館

参加者 15人×5回=75人

回	月 日	内 容	備 考
1	9. 21	音楽団体有志と公民館で意見交換、実施希望	打 合 会
2	10. 22	「コンサートづくり研究会」	立川地域文化振興会 大河内真幸氏
3	11. 23	「コンサート基礎事項内定」 実施日・楽団	企画検討会
4	12. 10	「実行委員募集と各種準備」について	〃
5	1. 21	「実行委員会スタートに備え」スケジュール	〃

この準備会をもとに、2月21日に第1回実行委員会がスタートした。

公民館本館利用者交流会

利用者間の交流を図るとともに、次年度予算作成期をひかえ、利用者の要望を聞く機会として実施した。

日 時 平成元年 1 1 月 1 8 日 (土) 午後 7 時 3 0 分～ 9 時 3 0 分
会 場 公民館 本館
参加者 3 2 人

公民館本館利用者研修会

利用者間の交流を図るとともに、公民館を考えてもらう機会として実施した。

日 時 平成 2 年 3 月 1 8 日 (日)
会 場 公民館
テーマ 「生涯学習と公民館」
講 師 小林 文人氏 (学芸大教授)
参加者 4 3 人

第 8 回 公民館のつどい及び実行委員会

公民館を会場として、サークル運営・環境問題・地域課題等、さまざまな問題を市民のレベルで、市民が考え合う場として実施された。

期 間 平成元年 5 月 2 2 日 (月) ～ 7 月 1 7 日 (月)
実施日 平成元年 7 月 9 日 (日)
会 場 公民館本館
参加者 2 6 6 人

月 日	テ ー マ	内 容
5. 22	第 1 回実行委員会	つどいの趣旨説明、日程と時間帯決定
6. 5	第 2 回 "	分科会概要決定
7. 1	第 3 回 "	参加人数の集約と会場の決定
7. 9	公民館のつどい	つどい当日
7. 17	つどいをふりかえる会	

分 科 会 構 成

分 科 会 名	司 会	記 録	事例発表者	助 言 者	会 場
カラフルに話したい ことがいっぱい	中村 絹江氏	斉藤 時子氏	片小田・佐藤 中村・宇都宮 斉藤・上野	藤 田 祐 幸 氏 (慶応大学 物理学教室)	第 3 集会室
女 の つ ど い	萩原みどり氏	中川キミ子氏 石橋 初子氏		船 橋 邦 子 氏 (フリーライター)	視 聴 覚 室
自分の時間 持っていますか	関根 和美氏	梶谷 克子氏 村松 氏	小田切・滝沢 川久保	久 田 恵 氏 (フリーライター)	音楽室
あなたのサークル ってどんなサークル	伊東 静一 (職 員)	久保 晴司氏		重 本 弘 子 氏 (東村山市の社会教 育を進める会代表)	第 1 集会室
高齢者の 活動と公民館	立川 愛雄氏	重見 通明氏	川辺 進氏		第 6, 7 集会室
障害者と共に 歩むまちづくり	高橋 邦彦 (職 員)	伊藤朕賀子氏		関 公 規 氏 (羽村養護学校教諭)	第 5 集会室
福生のまちと くらしを考える	市川 勝彦氏	岡本佐代子氏		斉 藤 修 氏 (高校教諭)	第 4 集会室
みんなのPTAにす るには どうしたらいいの	秋山 典子氏	伊藤 則子氏	石川美喜子氏	前 橋 弘 子 氏 (調布PTA 問題研究会)	第 2 集会室

総 括 回を重ねるにしたがって分科会数がふえ、それにもなってそれぞれのテーマに関心を持つ市民が新たにつどうようになり、年々交流の輪がひろがりをみせている。これを年一回のつどいととどめず、日常の交流につなげていく努力が必要である。

ほほえみフェスティバル

社会福祉協議会と公民館と実行委員会の共催で、福生公園ではバザーを実行委員会が担当し、福祉会館では社協が福祉機具展、公民館では交流会と福祉映画会を開催した。

実施日 平成元年9月10日(日)

会 場 公民館本館、福祉会館、福生公園

参加者 延べ150人

交流会助言者 小 山 茂氏 (小平市社協)

総 括 当日の参加者は、単なるバザーめあてと、福祉に関心のある人とは二分化されているようである。フェスティバル自体のあり方を考えていく必要があるように思われる。

だれでもなんでも展実行委員会

地域に開かれた文化祭をめざし、1) 地域の中でこつこつと作品を作っていたり、日常生活の中で行なわれている文化的営みを掘りおこし、そうした活動をしている人々を地域でつなげていく。2) そうした人々をつなげる役割を分館利用者が担っていく。3) 松林でのサークル活動の発表の場として、サークル活動を地域に広ろげていく、という三つの柱のもとに、利用者交流会が中心になり、実行委員会を結成、準備、実施にあたった。

準備日程

6月17日	日程、イメージの検討の話し合い
7月 1日	日程決定、イメージの検討、テーマの論議
8日	テーマの決定、委員長決定、(まつぼっくり 滝沢 昭子氏)
22日	よびかけ文の検討、決定、ポスター原案
9月 2日	参加サークル募集、当日の内容の検討
9日	ポスター、チラシ原案決定、作品募集
30日	各サークルの作品、一般応募作品の集約
10月 7日	当日役割分担の決定
14日	展示会場の割りつけ、一般作品の応募状況、準備体制について
20日	だれでもなんでも展準備
29日	反省会

参加者 16人×11回=176人

今年のテーマ まるく、まるく、ひろがれ、手づくり10年の波

だれでもなんでも展

日 時 平成元年10月21日～22日

参加者 2,600人

プログラム

10月21日(土) 午後1時～5時

展示 絵画、陶芸、彫刻、書道、七宝、文章、サークル紹介

演示 ○「草原の少女ローラー」 「15少年漂流記」 映画

○そのまんまコンサート、歌、伊東律子氏 ピアノ、梶谷克子氏

○喫茶コーナー

10月22日(日) 午前10時～午後4時30分

○展示コーナー

○映画 「草原の少女ローラー」

○お囃子

○ジャズ演奏(福生ジャズ愛好会)

○コーラス、コーラス虹

○剣詩舞

○人形劇—ブルーメンの音楽隊 「人形劇団わんぱく坊主」

○踊り

○喫茶コーナー、模擬店、囲碁、竹細工コーナー、工作コーナー

展示作品 753点(一般 536点、サークル 200点)

出品者 団体数 一般 80人 団体 15サークル

参加サークル 20団体

延入場数 2600人

今年は、伊東律子さんの手で「松林会館のうた」が作詞、作曲された。

松林分館利用者交流会

松林分館利用者の交流をはかり、館と利用者、利用者と利用者の交流が豊かに行なえる様に実施した。

日時 平成元年5月20日 午前10時～正午

内容 サークルの情報交換、公運審の報告、平成元年度の館の運営について

参加 20サークル 22人

本館映画会

本館での子供向けの映画会として実施した。フィルムは松林、白梅で上映のものを流用した。

日 時 平成2年3月3日(土) 午後7時30分～

会 場 公民館視聴覚室

参加者 12人

内 容 冒険者たち-ガンバと7人のなかま-

総 括 子供向の映画のため、夜間の上映会は無理があったようだ。来年度に幼児・低学年向けに映画会を実施する予定である。参加者の感想にその手応えだけは感じた。

松林ホームシアター

主に子供たちを中心に情操を豊かにする内容の映像を、一般向きには、反戦映画や、すぐれていと言われている映画を上映した。

月 日	内 容	上 映 時 間	参加人数
5. 27	①やさしいライオン。②ムーミンミィってやさしいの？	午後2時30分	63人
5. 28	〃	午前10時30分	40
6. 24	大どろぼうホッツェンプロッツ	午後2時30分	22
6. 25	〃	午後2時	20
7. 22	牙王	午後2時40分	20
7. 23	〃	午前10時40分	6
8. 19	人間の運命	午後6時30分	5
8. 20	ナイチンゲール	午後2時	7
	おこりじぞう	午後4時	7
	平和の谷	午後6時30分	5
8. 21	ビルマの堅琴	午後6時30分	20
9. 23	①がんばれスイミー、 ②杜子春	午後2時30分	34
10. 21	①草原の少女ローラ(1)、②十五少年漂流記	午後1時20分	65
11. 25	冒険者たち、(劇団四季による)	午後2時	10
12. 23	ジャンバルジャン物語	午後2時	25
1. 27	①フランダースの犬、 ②ベルとかいじゅう王子	午後2時	9
2. 24	①草原の少女ローラ(2)、 ②空とぶジュータン	午後2時	52
3. 4	冒険者たち (アニメーション)	午前9時30分	30
3. 25	①ドカベン、 ②赤毛のアン	午後2時	46

白梅親子映画会

子ども達に身近な公民館で見られる映画を提供し、家族で映像文化を楽しむ機会として実施した。

期 間 平成元年6月3日(土)～平成2年3月8日(土)

会 場 白梅分館

参加者 8回 208人

月 日	上 映 作 品	上映時間など	入 場 者
6. 3	おかしなおかしな星の国、海底少年マリン、他	午後2:00～ 1回	20
7. 1	まいごのてんとうむし、不思議なメルモ、他	" 1回	40
8. 26	ふたりのロッテ	" 1回	20
10. 21	ネバーエンディングストーリー	" 1回	10
11. 25	スペースキッドの宇宙探検、他2本	" 1回	20
12. 16	ガリバー旅行記	" 1回	22
1. 27	ナイカとリス、ぼくの犬キング	" 1回	10
3. 3	冒険者たち	午前10:00～ 3回	66

総 括 田園会館・図書館分館などでも映画会を実施しているので、公民館白梅分館としては特徴のある映画会にしていきたい。

人形劇公演(白梅親子人形劇)

身近なところで、素晴らしい創作人形劇にふれる機会として、人形劇団ビバボによる公演を実施した。

日 時 平成2年3月17日(土) 午後2時から

会 場 白梅分館

参加者 50人

講師派遣事業

この制度は、公民館を利用する社会教育関係団体の活動を援助するため、公民館が予算の範囲内で講師を委嘱し派遣するものである。この制度を受ける事業はすべて公募とし、一般市民が自由に参加できるものとされている。

月 日	利 用 団 体	講 師	参加者
9. 2	福生市音楽愛好者連絡会	瀬川 武氏	10人
2	おしゃべり文庫	榎本 隆氏	10人
2	市民コーラス	瀬川 武氏	10人
10. 23	福生アマチュア・マジッククラブ	小林 文美氏	12人
2. 22	ありんこ	吉野 チエ氏	18人
28	まつぼっくり	梅田 俊作氏	10人
3. 5	保育サークル交流会	梅田 俊作氏	10人

総 括 年々この制度が公民館利用者の間に知れわたり、定着してきているようである。

(7) 高齢者

高齢者ワープロ教室

昭和63年度実施時に回数について増やしてほしいとの要望があったので、今年度からは全6回とした。講義時間も1回2時間であるが、それにこだわらず時間外でも操作できるよう機材を解放した。ただ、ここまで回数や実習時間を増やしても、どうしても参加者の進み具合に大きな開きがでてしまう。高齢者については、特に技術の習得を目的としているわけではないのだが受講者にあまり差が出てきてしまうと指導方法及び指導者数に支障をきたしてしまうので、この点については考え直してみる必要がある。

コース	期 間	内 容	指 導 者	参加人員
高 齢 者	12月6日(水)～11日(月) 午前10時～正午 全6回	ハンディタイプのワー ドプロセッサの基本 操作と簡単な文章作成	築地 尚美氏	60人 ×6回 =360人

やじきたハイキング

主に高齢者を対象としたハイキングであるが参加者の年齢は40歳から70歳とだいぶ広がっている。昨年からもう少し歩きごたえのあるコースの要望もあったが、そこはやじきたで知り合った仲間で、さそい合って行ってもらふこととし、本年もハイキング入門のためのコース設定とした。男性の常連は何人か見られるが、もう少し参加が増えるような工夫が必要と思われる。

実施日	行 先 及 び コ ー ス	講 師	参加人員
5. 8	瑞穂町六道山 公民館 — 六道山 — 狭山池 — 公民館	吉野 チエ氏	25人
8. 7	日の出町白岩の滝 福生駅 — 肝要 — 白岩の滝 日の出山 — 吉野 — 軍畑駅 — 福生駅	吉原 寿子氏	25人
10. 16	日和田山 東福生駅 — 高麗駅 — 日和田山 — 物見山 — — 武蔵横手駅 — 福生駅		25人
12. 11	天狗岩 牛浜駅 — 青梅駅 — 畑中 — 馬引沢峠 — 天狗岩 — 梅ヶ谷峠 — 吉野 — 宮平駅 — 福生駅		25人
1. 29	川越市喜多院 牛浜駅 — 本川越駅 — 東照宮 — 喜多院 五百羅漢 — 氷川神社 — 時の鐘 — 本川越駅 — 牛浜駅		25人

熟年ひろば

都市化、核家族化とともに、当市も高齢化が進展している。人生80年時代を健康で元気に生きる事を目標に以下のとおり実施した。また来年度、市制20周年記念事業「寿市民ひろば」の実施にむけ、企画準備の機会を多く設けた。

期 間 平成元年11月10日（金）～3月30日 午前10時～正午 全14回

会 場 白梅分館

参加者 35人×14回＝490人

回	月 日	内 容	備 考
1	11. 10	オリエンテーション 今年度の進め方	話 し 合 い
2	17	「私達の人生の歩み」 そのⅠ	〃
3	12. 1	「 〃 」 そのⅡ	〃
4	8	市制20周年『寿市民ひろば』づくり①	企 画 検 討 会
5	15	平成元年 忘 年 会	懇 親 会
6	1. 12	新年の会 今年の各々の抱負と目標	話 し 合 い
7	20	「市の基本構想とまちづくり」について	宮岡一雄氏（明治大学）
8	2. 2	『寿市民ひろば』づくり ②	企 画 検 討 会
9	9	〃 ③	〃
10	16	〃 ④公民館・福祉部厚生課職員との顔合せ	企 画 交 歓 会
11	3. 2	〃 ⑤企画作りから準備実践と社会参加	原田正二氏（元大正大）
12	9	『寿市民ひろば』づくり ⑥	企 画 検 討 会
13	16	〃 ⑦ 社協職員、事業団職員との顔合せ	企 画 交 歓 会
14	30	今年度まとめと花見、今後の活動について	話 し 合 い

以上の経過を踏まえ、平成2年4月から『寿市民ひろば』準備委員会がスタートとなった。

人生をうたおう会

生活（人の感性を養う）の一要素である歌を通して、仲間づくりから高齢期を楽しく健康的に生きることを目標に以下のように実施した。

期 間 平成元年7月14日（金）～11月12日 午前10時～正午 全9回

会 場 白梅分館

参加者 35人×9回＝315人

回	月 日	内 容	備 考
1	7. 14	人生を綴る懐かしい唄、今だれもが歌う唄、私の思	合唱・ピアノ 山下やよい氏
2	28	い出の曲、十八番の曲など参加者みんなでうたいあ	
3	8. 25	げる。 今回主に童謡・唱歌	
4	9. 8	・希望選曲約10曲を全員のレパートリーに	民謡・三味線 富田 朝子氏
5	29	・参加者一人ずつ、毎回5人位が「思い出、好きな	
6	10. 13	曲」を選び、みんなで唄う。	
7	27		(コーラスと民謡)
8	11. 9	文化祭出演のリハーサル練習	
9	12	市民文化祭“音楽の広場”に出演	

講座終了後は自主活動で白梅利用者発表会、市民音楽祭等に参加している。

6. 市民会館主催事業

1. 目 的

会館は、市民の文化・芸術の拠点として、また豊かな人間性をはぐくむ場として、会館のもつ機能、設備を内容面で市民に還元してゆくことを目的としている。

その一環として、市民会館主催事業は、市民によりよい鑑賞の機会を提供し、生活の潤い、いきい、また、文化、芸術の創造の契機となるよう行われる。それは、市民が鑑賞者として、“すばらしいもの”を愛する心をいつまでも持ち続け、会館が主催者として、市民の求める“すばらしいもの”を十分に検討し、それに対応するという相互のより高い調和を目的とし、開催する。

2. 目 標

ポップス、落語、寄席、映画等、幅広いジャンルからの企画により、多くの市民の参加を目標としている。

また、主催事業の内容の充実とともに、催しを全市民に周知するよう宣伝活動の徹底をこころ

がける。

公 演 名	実 施 日	会 場	入場料金	入場者数	出 演 者
中村あゆみコンサート	平成元年 10月21日(土)	大ホール	指定 3,500円	1,150人	中 村 あゆみ
初笑い福生寄席	平成2年 1月 7日(日)	〃	指定 1,500円	642人	清 水 アキラ 林 家 こん平 青空きんしぎんし 花 島 みどり 三遊亭 愛 楽
新日本フィルコンサート	平成2年 3月17日(土)	〃	指定 S 4,000円 A 3,000円	571人	井 上 道 義 堀 米 ゆず子 新日本フィルハ ーモニー交響楽団

市民名画劇場

上 映 作 品	上 映 日	上映回数及び入場者数
グ レ ム リ ン	5月27日(土)	午後・夜間 2回 261人
ペギー・スーの結婚	7月29日(土)	午後・夜間 2回 87人
ポセイドンアドベンチャー2	9月30日(土)	午後・夜間 2回 69人
男はつらいよ・知床慕情	11月11日(土)	午後・夜間 2回 98人
愛と青春の旅だち	12月 9日(土)	午後・夜間 2回 66人
レイダース 失われたアーク	1月27日(土)	午後・夜間 2回 77人
太陽の帝国	3月24日(土)	午後・夜間 2回 107人

いずれも市民会館小ホール